

兵庫民医連公開冬季奨学生会議

ウィンターセミナー

「医師のコミュニケーションスキル」

～患者さんの社会背景をどう捉えるか～

日時：2011年12月23日（金）～24日（土）

会場（宿泊）：シーパル須磨

安心・安全な医療をすすめていくためには、患者さんと医師を含めた医療従事者との信頼関係が大切です。患者さんの中には、様々な困難を抱えておられる方もたくさんいらっしゃいます。医療機関を受診することが出来ない方もいらっしゃいます。その患者さんの社会背景にはどのようなことがあるのでしょうか。そして、そのような患者さんを診る医師として、どのようなコミュニケーションスキルが必要なののでしょうか。ぜひみなさん一緒に学習しましょう！

23日（金）（12：30 会場に集合）

- ・講演「社会保障制度について」（仮） …阿江善春氏（神戸女子大学講師）
- ・「模擬患者によるコミュニケーション・セミナー」
…藤崎和彦教授（岐阜大学）・COML（コムル）模擬患者
- ・夕食交流会・大交流会

24日（土）（15：00 終了・解散）

- ・「まとめ（総論）」東一医師（尼崎医療生協病院 内科医）
- ・東日本大震災支援ボランティア参加学生報告
- ・学生発表（テーマ：震災と私）
- ・次回（夏・サマーセミナー）の学習テーマ決め



今年の夏に取り組んだ「サマーセミナー」テーマ：憲法～命の大切さとは～



患者さんからの聞き取り。

「生存権…最低限度の生活」って？
KJ法を使って、班ごとにまとめました。

次回のテーマ決め。
ここでの話し合いをもとに、
今回このテーマで取り組みます。

参加者みんなで記念撮影♪



【ウィンターセミナーとは？】

医学生が自主的にテーマを決めて、そのテーマに沿って学習することを目的として、主に夏と冬の年2回、取り組んでいます。主役はもちろん医学生です。ここで多くの仲間や先輩医師たちと大いに交流しましょう！
奨学生でなくても医学生なら参加出来ます！参加費は無料です。

■ 藤崎和彦教授のプロフィール ■

岐阜大学医学部医学教育開発研究センター（MEDC）バーチャルスキル部門教授。日本医学教育学会 理事・医療コミュニケーション研究会 会長・医学教育学会教育資源 SP 養成委員会 顧問。北海道大学医学部卒業、大阪大学大学院医学研究科博士課程修了。奈良県立医科大学助手、岐阜大学助教授を経て現職。専攻領域は医学教育学、行動科学、医療社会学。日本での医療現場におけるコミュニケーション技術指導の草分け的存在。

■ COML（コムル・ささえあい医療人権センター） ■

（Consumer Organization for Medicine & Law）（医療と法の消費者組織）

医療を消費者の目でとらえようと、1990年9月に活動をスタートしました。「いのちの主人公」「からだの責任者」である私たち市民中心のグループです。COMLでは「賢い患者になりましょう」を合言葉に、患者の主体的な医療への参加を呼びかけています。患者と医療者が、対話と交流のなかから、互いに気づき合い、歩み寄ることのできる関係づくりを願っています。COMLは、患者中心の開かれた医療の実現を目指します。

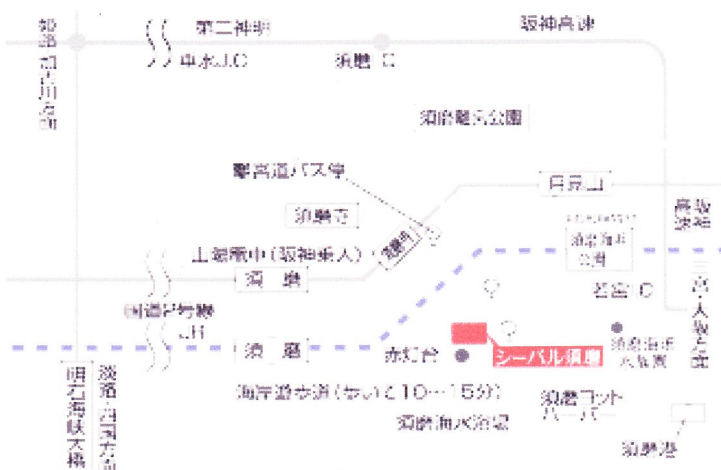
どうすれば医療者とのよりよい関係をつくることのできるのか、楽しみながら一緒に考えていきましょう！

□模擬患者とは・・・医師や医学生の医療面接（問診）の練習相手として患者役を演じる人のことです。

『ホームページ』より・・・

会場・宿泊 シーパル須磨

交通のご案内



JR「須磨」駅から徒歩 12分
JR「海浜公園」駅から徒歩 8分
山陽電車「須磨」駅から徒歩 12分
山陽電車「月見山」駅および
「須磨寺」駅から徒歩 15分

医学生のみなさんの参加をお待ちしています。

☆お問い合わせ・お申し込み☆ E-mail igakusei@hyogo-min.com

兵庫民医連 医学生担当 まで

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7 Tel: 078-303-7351

※ ホームページからでも、お問い合わせ・お申し込みが出来ます。 兵庫民医連 医学生のページ で検索！
件名に「ウィンターセミナー問い合わせ（申し込み）」と書いてください。

参加される方の、お名前・学校名・性別・電話番号・住所を、本文に書いてください。

※ 事前にお申し込みをお願いします。締め切り日は、12月16日（金）とさせていただきます。